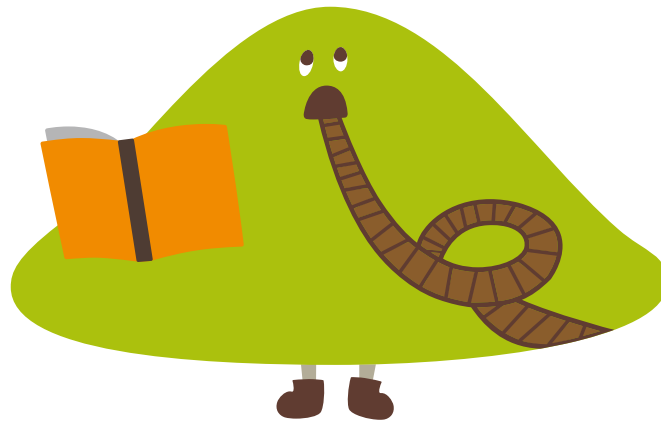


Disaster Prevention Handbook for Dormitory student

学生宿舎 防災ハンドブック



Osaka Kyoiku University

Dormitory

Kashiwara Campus

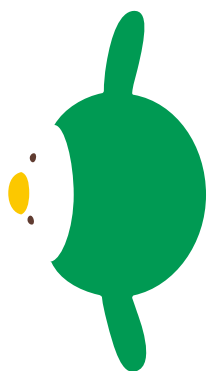
---

[osaka-kyoiku.ac.jp/campus/dormitory](https://osaka-kyoiku.ac.jp/campus/dormitory)

## CONTENTS

---

1	地震	1
2	火災	2
3	台風	3
4	避難場所	3
5	安否確認	4
6	非常時持ち出し品リスト（参考）	4
7	宿舎内の消防設備配置図	
	（1）男子学生宿舎	5
	（2）女子学生宿舎	6
	（3）留学生宿舎	7
8	消防設備などの使い方	8
9	学生宿舎自衛消防組織	
	（1）男子学生宿舎	11
	（2）女子学生宿舎	12



# 1 地震

## (1) 地震が発生したとき

- ・まず、机の下などへもぐり、安全を確保する。

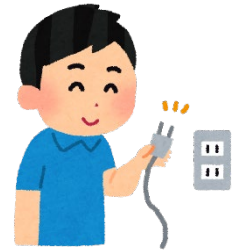
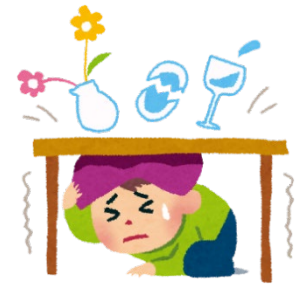
### 【揺れがおさまったら】

- ・ドアを開け、非常脱出口を確保する。
- ・火元を確認する。火が出たら、落ち着いて初期消火をする。
- ・フロアの安否確認をする。
- ・コンセントからコードを抜く。倒れた家具が延長コードを踏んでいないか、電気製品の破損の有無を確認する。
- ・危険だと判断したときは、スリッパや靴をはき、避難を開始する
- ・余震に注意する。
- ・被害があったときは、学生支援係／国際室へ連絡する

連絡先 学生支援係 072-978-3312

国際室 072-978-3300

警備員室 072-978-3261（夜間 17：15～8：30、土日祝）



## (2) 地震が起きる前に

- ・避難場所や避難ルートを確認しておく。
- ・非常時の持ち出し品を準備しておく。
- ・部屋の扉付近は整理整頓しておく。
- ・部屋の上部の棚（日本人学生宿舎のみ）に重い物を置かない。

## (3) 学生宿舎のガス・水道について

### 【ガス】

- ・震度5強以上の地震が発生すると、地震感知器が発報し、柏原キャンパス全体のガスが遮断される。
- ・ガス復旧時に火災の恐れがあるため、ガスの元栓を閉める。

### 【水道】

- ・震度5強以上の地震が発生すると、緊急遮断弁が動作し、中水（トイレ用の水）・上水（飲料水）とも供給が停止する。
- ・水道の復旧は、設備に異常がないことの確認と、電力復旧後になる。復旧直後は水が濁ることがあるため、炊事等に使用するときには、水に濁りがないか確認する。
- ・みんなの広場の貯水槽（貯水機能つき給水管）が利用できる。飲用可だが、地震の際は排水管内の錆が混入して水が濁る場合がある。上水道が復旧するまでは、水槽の残留水のみ使用できる。
- ・みんなの広場の防災用簡易トイレが利用できる。洗浄水がないため、バケツ等であらかじめ水を用意する必要がある。

## 2 火災

### (1) 火災が発生したとき

#### 通報

- ・「火事だ！」と大声で周囲に知らせ、協力を求める。
- ・非常ベルを押す。
- ・消防署 119番に通報する。

あわせて、学生支援係・国際室・警備員室へも連絡する。

連絡先	学生支援係	072-978-3312
	国際室	072-978-3300
	警備員室	072-978-3261



#### 消火

- ・消火器、屋内消火栓を使って初期消火を行う。
- ・火元に向けて消火する。(煙に向けると燃え広がります)
- ・天井まで燃え移ったときは、消火を中止し、避難する。

#### 避難

- ・ぬれたタオルやマスク等で顔(特に口)を覆う。
- ・煙の中を逃げるときは、できるだけ姿勢を低くする。
- ・避難後、大学に連絡する。

ベルが鳴ると、警備員室と事務局棟1階(火災受信所)へ届く。

警備員は受信機で場所を確認し、現場へ駆けつける。

火災報知器受信機で、ベルの鳴動場所が確認できる。

火災が発生した場合は、他の学生宿舎へも知らせる。

### (2) 普段から気をつけておくこと

- ・消火器、消火栓の場所・避難経路を確認しておく。(P5、6)
- ・避難はしごの場所・使用方法を確認しておく。(P9)
- ・共用部分・廊下・階段に物を置かない。
- ・防災訓練には必ず参加する。

### (3) 火災を防止するために

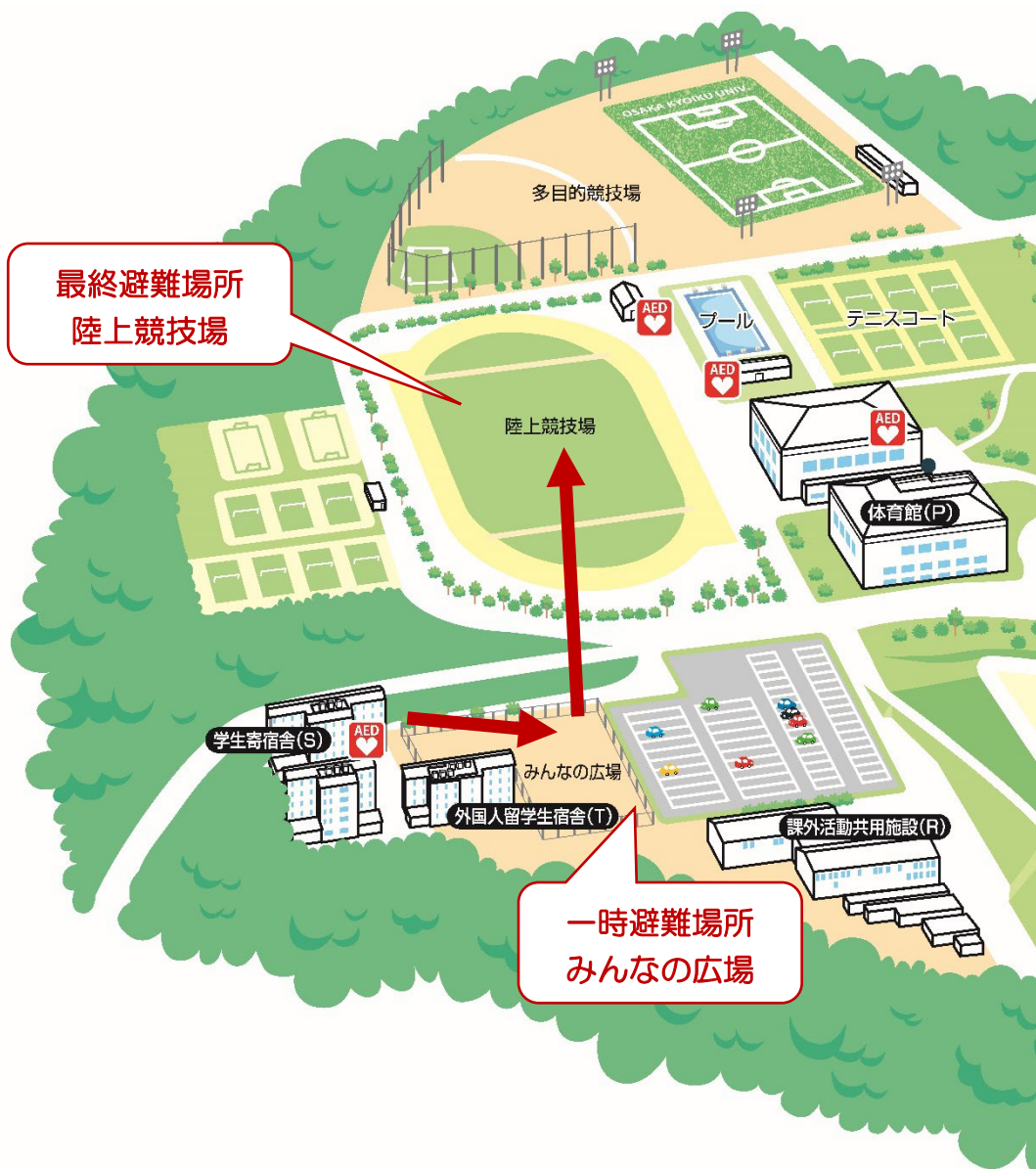
- ・ガスコンロを使うときは、その場から離れない。使用後は元栓を閉める。
- ・使用しない電気器具のコンセントを抜いておく。
- ・電気器具は正しく使い、たこ足配線をしない。
- ・コンセントや配線に積もったほこりが引火することがあるため、日頃から清掃する。

### 3 台風

台風が接近するおそれがあるとき

- 窓とカーテンを必ず閉める。
- 段ボールと養生テープを使い、窓ガラスを補強する。
- ベランダを片付ける。
- バイクを固定しておく。自転車をあらかじめ倒しておく。

### 4 避難場所



## 5 安否確認

地震や火事などの災害が起きたときに、ご自身の安否情報を以下の通り共有してください。

### 1 自身の安全を確保する

- ・自身の安全を確保することを最優先する。

### 2 家族に連絡する

### 3 本学安否確認システム ANPIC に返答する

地震や自然災害などの大規模災害が発生したとき、自動的にメールが届くので、必ず返答すること。

### 4 フロアごとのLINE グループに伝える

- ・寮生は、フロアグループ LINE に、自分の安否を伝える。
- ・班長はフロア入居者の安否確認を行い、情報があり次第、学生支援係へメールや電話で伝える。
- ・グループ LINE 上で班長の応答がないときは、他の寮生から係へ報告。

### 学生支援係から連絡をする場合

- ・緊急時は、大学の電話番号ではない番号から、連絡が入る場合がある。
- ・寮生に連絡が付かない場合、ご家族に連絡する場合がある。
- ・安否不明の学生の居室を開錠する場合がある。
- ・係が独自に得た安否情報は、フロア班長に共有する。

## 6 非常時の持ち出し品リスト（参考）

避難するときに持ち出すものです。持ち出しやすい場所に置いておきましょう。

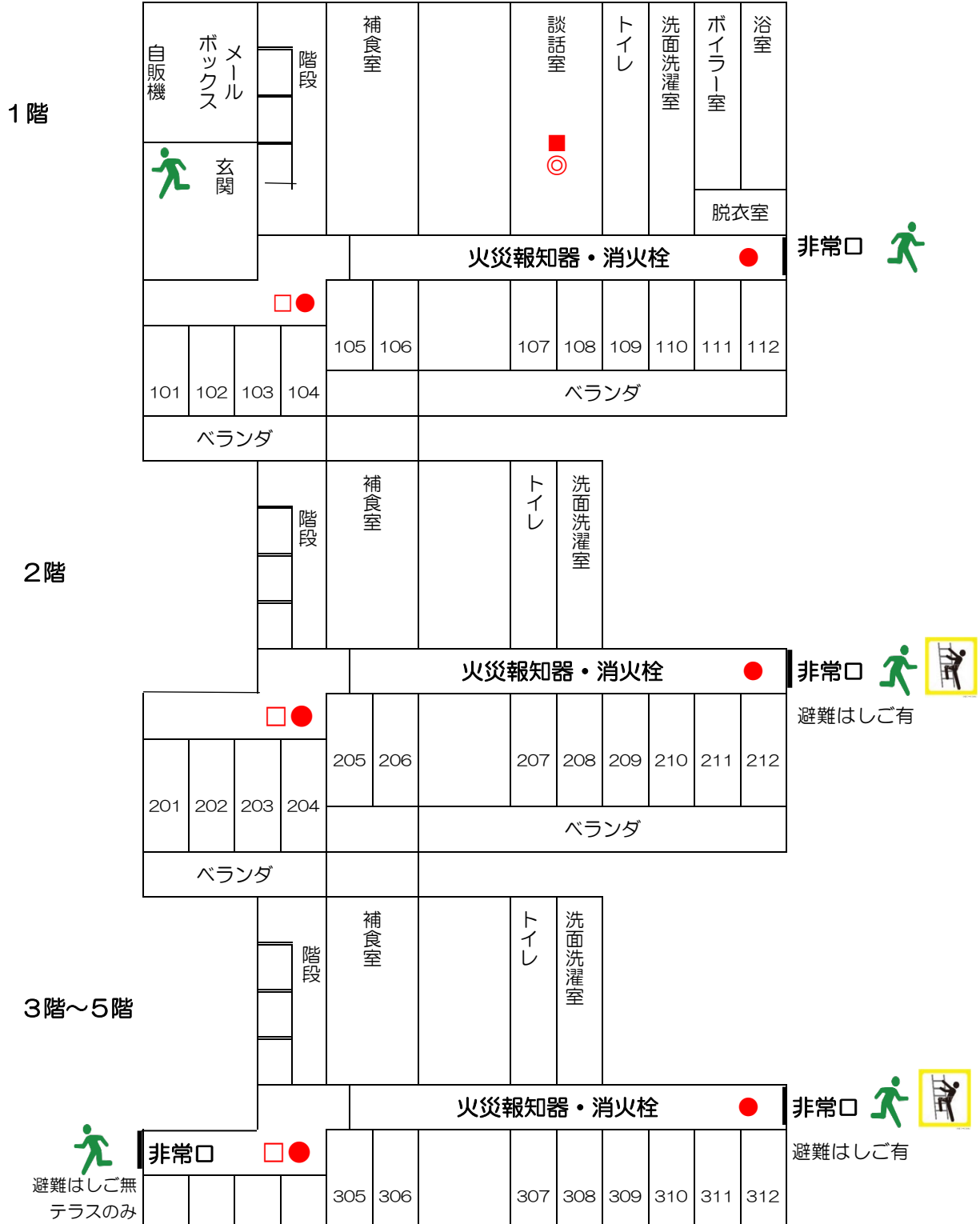
また、自分の環境に合わせて必要なものを準備しましょう。

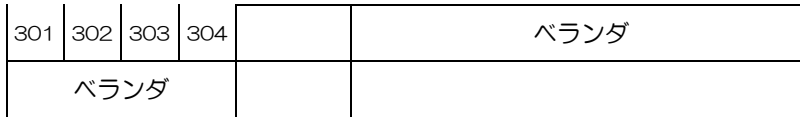
貴重品類	現金 10 円玉、100 円玉（公衆電話用※） ※公衆電話は、A 棟から駅に向かう階段の近くにあります。 預金通帳、印鑑、保険証、免許証
避難用具	懐中電灯、携帯ラジオ、予備の乾電池 ヘルメット、防災ずきん
生活用品	厚手の手袋、毛布、缶切、マスク、手指消毒ができるもの、スリッパ ライター・マッチ、ナイフ、携帯用トイレ、スマートフォン充電器
救急用具	救急セット、常備薬・持病薬、生理用品
非常食品	非常食、飲料水
衣料品	下着・靴下、長袖・長ズボン、 防寒用ジャケット、雨具
その他	携帯用カイロなど その他自分の生活に欠かせないもの

# 7 宿舎の消防設備配置図

●：消火器    ◎：火災受信機    ■：館内放送設備    □：防災グッズ保管庫

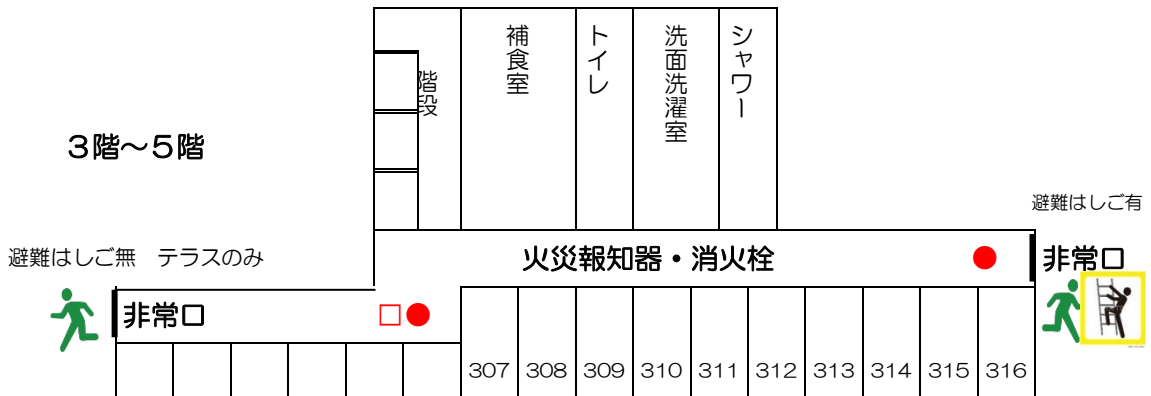
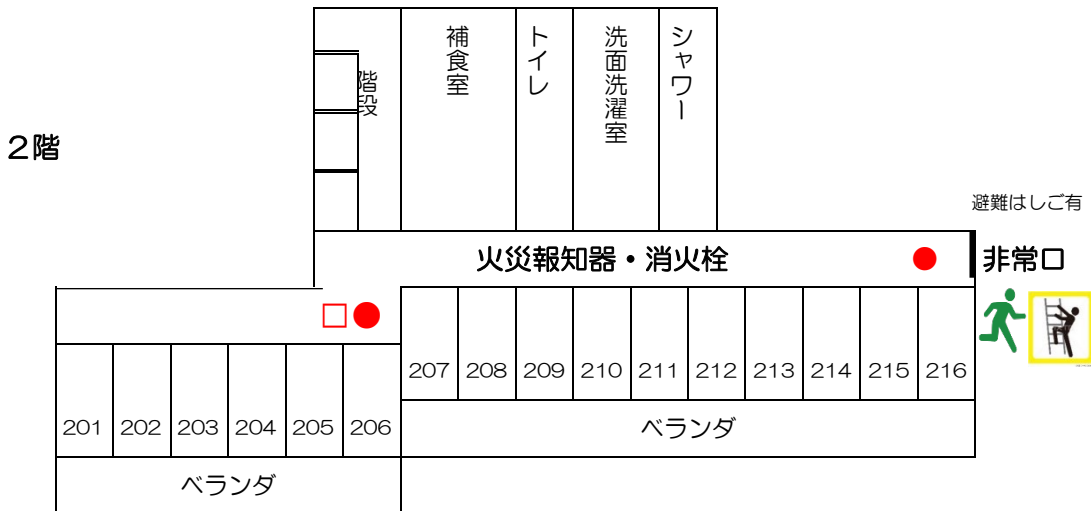
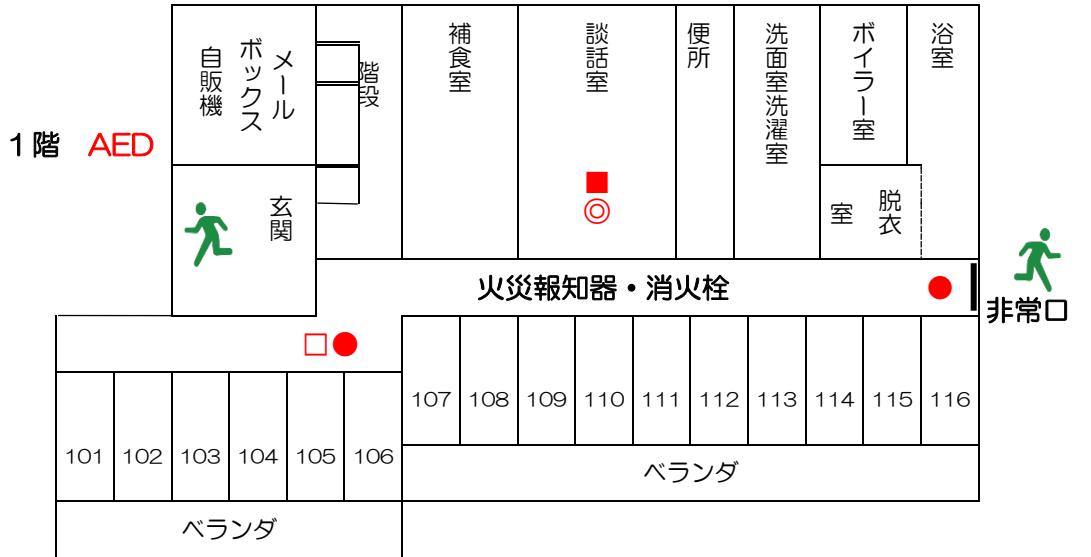
(1) 男子学生宿舎の消火設備配置図 談話室に内線専用の電話（3891 番）があります。



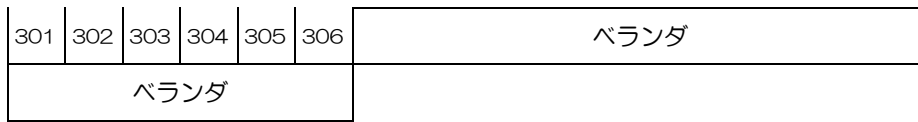


(2) 女子学生宿舎の消火設備配置図

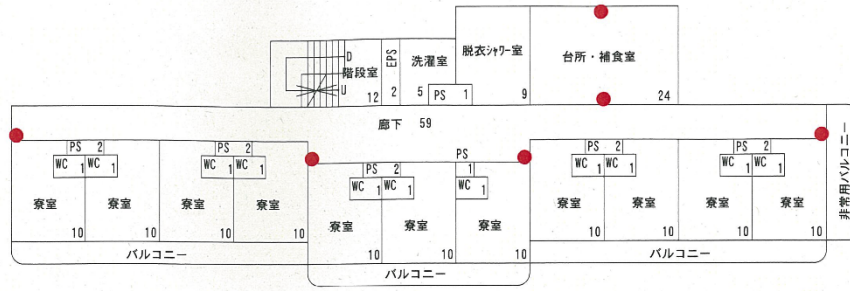
談話室に内線専用の電話（3890番）があります。



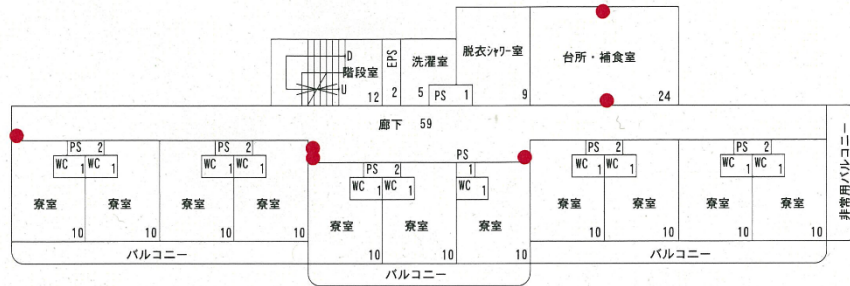




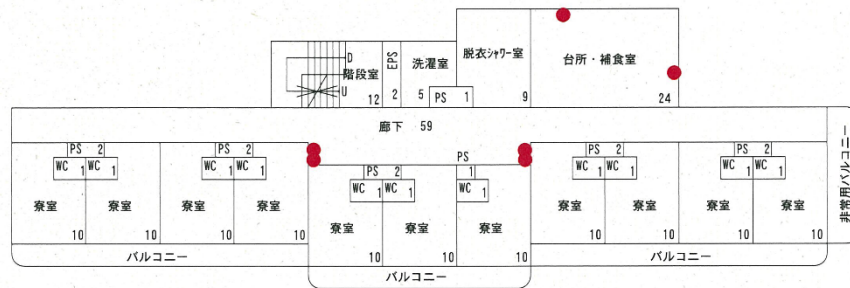
(3) 留学生宿舎の消火設備配置図



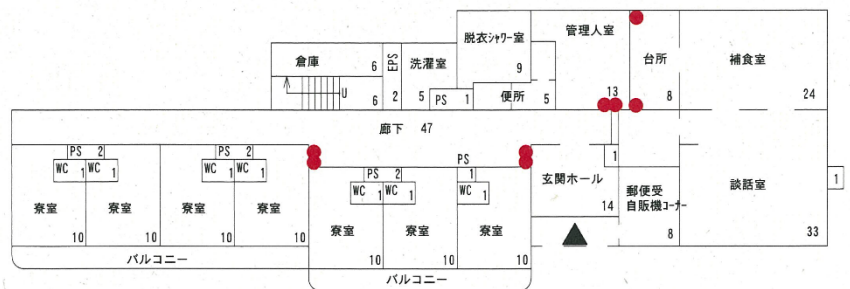
4 階



3 階



2 階



1 階

## 8 消防設備などの使い方

## (1) 自動火災報知設備の使い方



※火災を発見した場合、火災報知機のボタンを押すことにより、ベルが鳴動し火災を知らせます。  
(※事務局棟(火災受信所)や警備員室にも通報されます)

## (2) 消火器の使い方



取扱説明  
ピン



①  
ピンを抜く



②  
ホースを持ちレバーを握る

## (3) 屋内消火栓の使い方

必ず2名以上で操作する



①  
消火栓の扉を開ける



②  
ホースを引出す



③  
消火栓始動ボタンを押す



④  
バルブを緩めると水が出る



⑤  
開始に向け消火する

## (4) 避難はしご

の使い方



避難扉の外部に設置



ハッチを持ち上げる



フックを外しハッチを開く



ハッチが開く



レバーを押すと梯子が下がる

(5) 火災受信機・放送設備 (放送設備は男子・女子学生宿舎のみ設置)



右: 火災受信器  
左: 放送設備

日本人学生宿舎は談話室内、  
留学生宿舎は管理人室内に  
設置。(放送設備は日本人のみ)



放送設備 (宿舎全体に放送できます)

1. 「電源」を押す
2. 「マイク放送」を押す
3. 放送する箇所のボタンが光っていることを確認する
4. マイクを外し、マイクにあるボタンを押しながら話す



## (6) 防犯ブザー (女子のみ)

### ●防犯ブザー

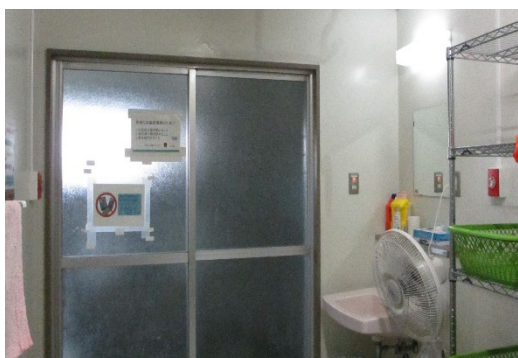
#### 設置場所

##### ・1階部分 (22ヶ所)

廊下 (5ヶ所)・トイレ (4ヶ所)・脱衣室 (3ヶ所)・洗面所 (2ヶ所)・玄関  
談話室 (2ヶ所)・補食室 (2ヶ所)・洗濯室・階段踊場・メールボックス付近

##### ・2階～5階部分 (各階17ヶ所)

廊下 (5ヶ所) トイレ (4ヶ所)・脱衣室 (2ヶ所)・洗面所 (2ヶ所)・  
補食室 (2ヶ所)・洗濯室・階段踊場



(脱衣所)



(廊下)

- 警報表示ランプ盤：階段付近に設置  
サイレンが何階で鳴っているかを表示する。



(階段付近、上方)

#### サイレンの音が聞こえたら

**警備員室 (072-978-3261) と学生支援係 (072-978-3312) に連絡してください。**

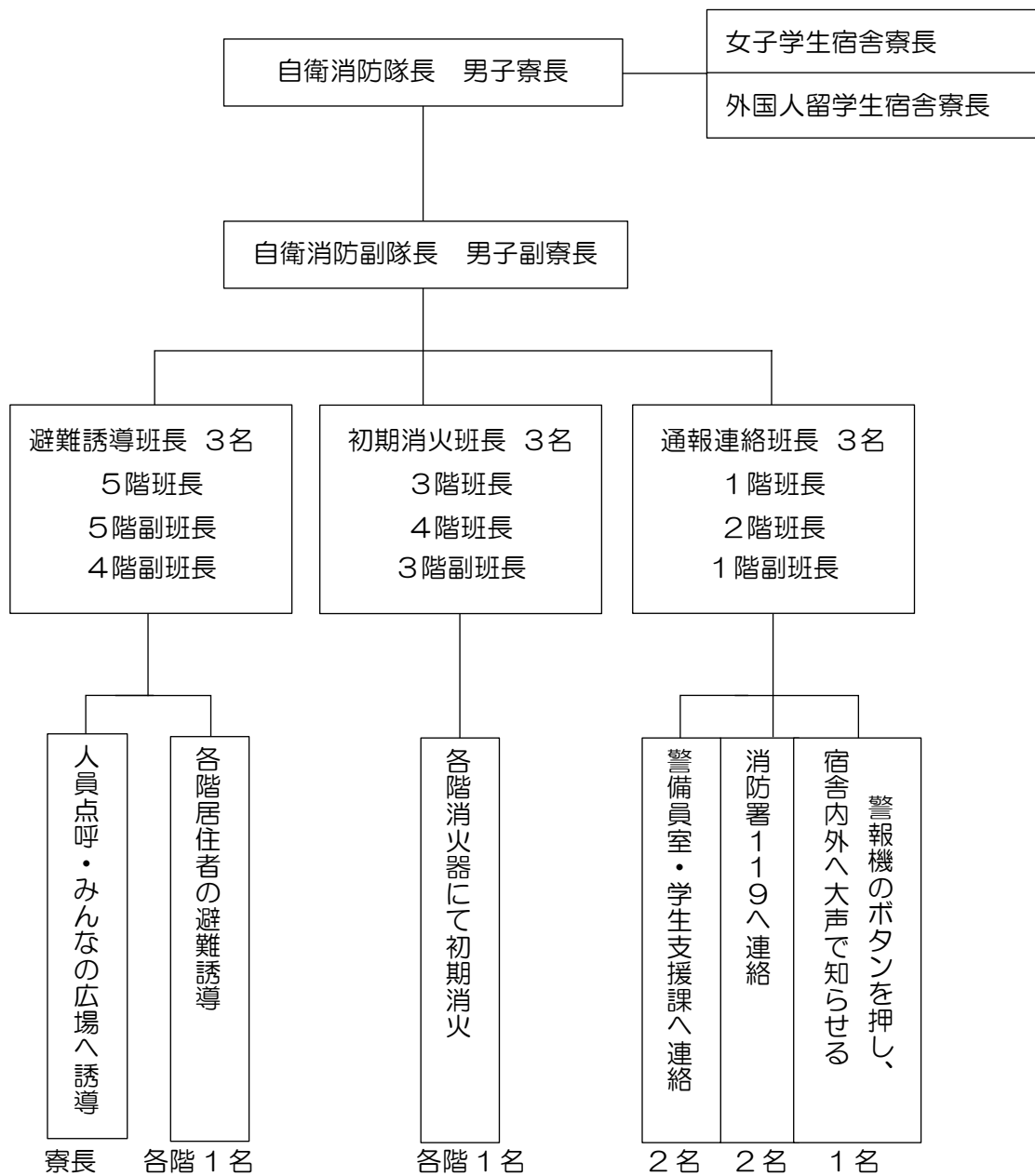
状況によっては、警察 (110) に通報してください。サイレンは、警備員室、学生支援課、警察へは直結していません。

#### 誤って防犯ブザーを押してしまったら

**押したボタンを引き戻すと、数分以内に鳴動停止します。誤報である旨を、警備員室と学生支援係に連絡してください。**

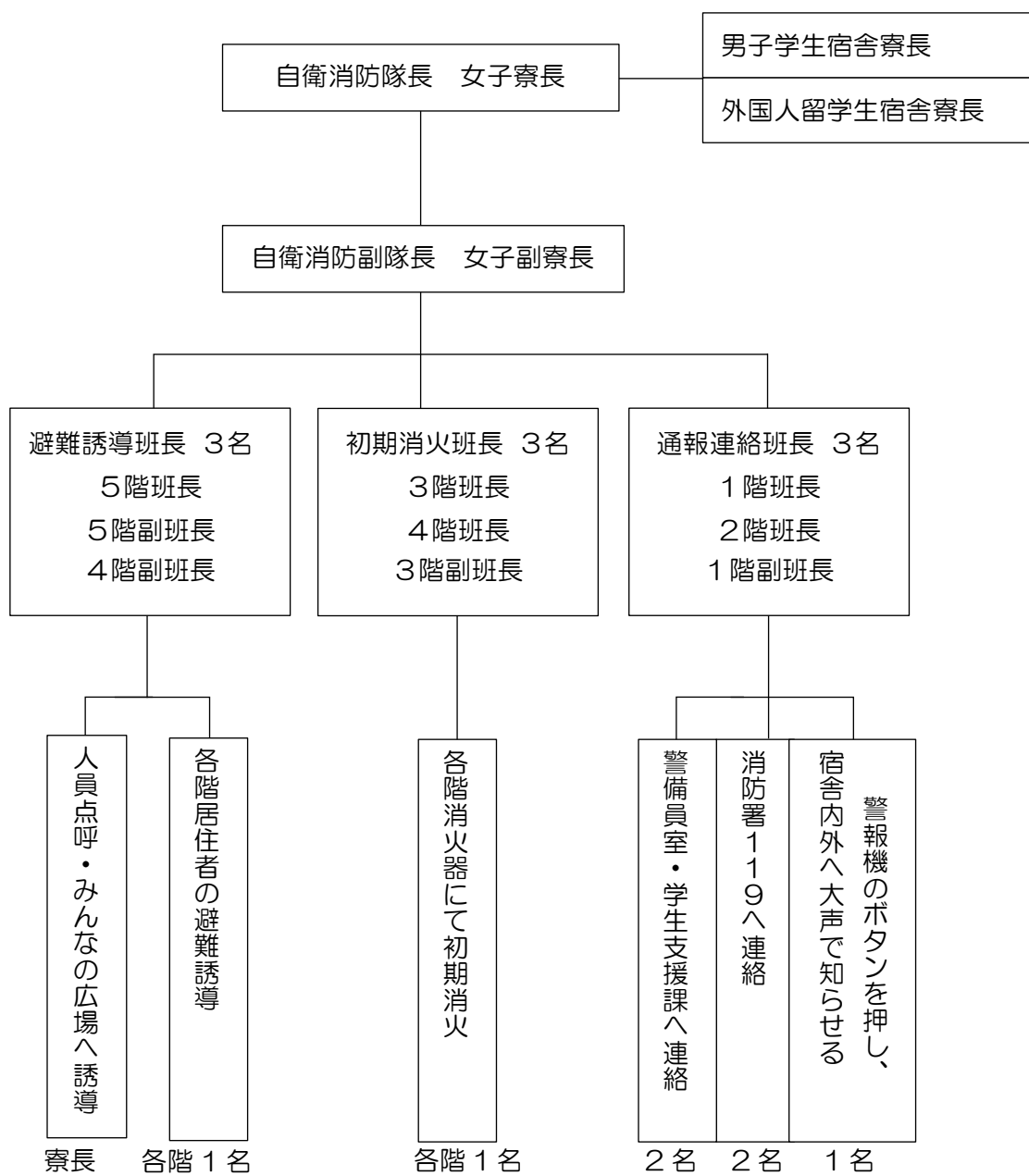
## (1) 男子学生宿舎自衛消防組織

(各階の火元責任者：各階班長・副班長)



(2) 女子学生宿舎自衛消防組織

(各階の火元責任者：各階班長・副班長)



主な連絡先

学生支援課学生支援係(男子・女子学生宿舎担当)

Tel 072-978-3312 Email hokenryo@bur.osaka-kyoiku.ac.jp

学術連携課国際室(留学生宿舎担当)

Tel 072-978-3300 Email ryugaku@bur.osaka-kyoiku.ac.jp

警備員室 Tel 072-978-3261

保健センター Tel 072-978-3811